

さくらの里

「桜の里散歩路」看板が設置されました



地域づくり推進交付金を利用し、コミセンの敷地内（駐車場の西角）に「桜の里散歩路看板」が設置されました。これは、名所旧跡のわかるマップ看板となっており、桜や高玉芝居を見に来られた観光客に利用いただくほか、手持ちサイズのマップを作成し（現在作成中）蚕桑の方にも名所旧跡めぐりをしていたいただき、このマップをもとにウォーキングをする等、健康増進にも役立てていただきたいと思います。

看板設置にあたっては、梅津秀明、加藤晃一、菅弘美、児玉さだ子、佐々木誠司、町田幸子各氏の検討委員が会議を重ね、位置や表記等何回も見直し、検討いただきました。

看板の特徴として、桜の名所の表記、神社に獅子の絵柄の挿入、田んぼアートや蓮池など蚕桑の名所をふんだんに入れました。

手持ちのマップは、11月まで地域おこし協力隊として活動いただいた石井紀子さんに文章と写真作成を、イラストレーターのおてるひろえさんには、挿絵をお願いしております。

名所旧跡めぐりは、来年度も継続して行い、石井紀子さんに解説をお願いしながら、蚕桑の歴史を学習する予定です。

平成30年度 各専門部会から活動報告と今後について

生涯学習部

部会長 小林 真



文化祭、高玉芝居公演、研究集会と多くの事業を担当した生涯学習部。



生涯学習部は主に文化祭や高玉芝居公演等の事業を担当し、事前の会議で係分担任、当日もスムーズに動いていただきました。関係者の皆様のご協力で無事活動が終了できたことに感謝しています。年度を振り返ると恒例行事をこなすことが精一杯で慌ただしく1年が過ぎたというのが正直な実感です。年度最後の部会では文化祭行事の反省点や課題等の意見が多く交わされました。新しい取り組みも大事ですが、恒例行事の在り方、取り組み方を地域とコミセン関係者全体で議論し、今後についても、老若男女問わず地域全員参加型の、わくわくするような内容の行事が必要と考えます。

地域安全部

部会長 加藤晃一



↑スポGOMI大会の安全の見守り
↓「蚕桑地区防災研修会」の開催。



今年度の地域安全部の活動の主なものは、4月12日、蚕桑小学校を会場に地区内の交通、防犯関係団体と蚕桑小児童の対面式を兼ねた「青パト隊の出発式」を行いました。8月19日、小学校周辺で区内の美化と親子交流を目的とした「スポGOMI大会 in 蚕桑」の見守りボランティア、11月11日、地区の土砂災害危険区域の把握と防災意識の向上を目的とした「防災研修会」を開催しました。また、通常の会議、研修会として2ヶ月に1回の部会を開催し、西駐在所警察官等から蚕桑地区の犯罪、交通事故の状況などを聞き、地区民の方にお知らせするよううにしています。今年度の活動についてはまだ策定中ですが、今年度の活動を踏襲するとともに、安全で安心して住める蚕桑地区のため具体的な何をすべきかを考え、活動していきたいと考えております。

6次産業化支援事業 新商品開発の可能性を探る 検討委員会を開催

2月19日、「山口はすの会」(佐藤久一会長)が管理する蓮池で採れたレンコンと、本木勝利さんが育てた紅色のサツマイモを活用した料理の新商品検討会がありました。

料理の製作に取り組んだのは、「白鷹高等専修学校」の「イタリアンレストラン」「シヤッタカ」「白鷹陽光学園」です。専修学校は、レンコンをのせたり、サツマイモをあん状にしたパンを紹介。「シヤッタカ」の安達さんは、レンコンとサツマイモを細かくして入れたシロップとサツマイモの「ヨツキ」を作製。陽光学園は、サツマイモのスライスとパイの紹介でした。サツマイモの料理は炒めたり、煮たりでマンネリ化していきま

紹介が、煮たりでマンネリ化していきま
紹介が、煮たりでマンネリ化していきま
紹介が、煮たりでマンネリ化していきま



蚕桑地区桜の里づくり推進委員会 規約改正について

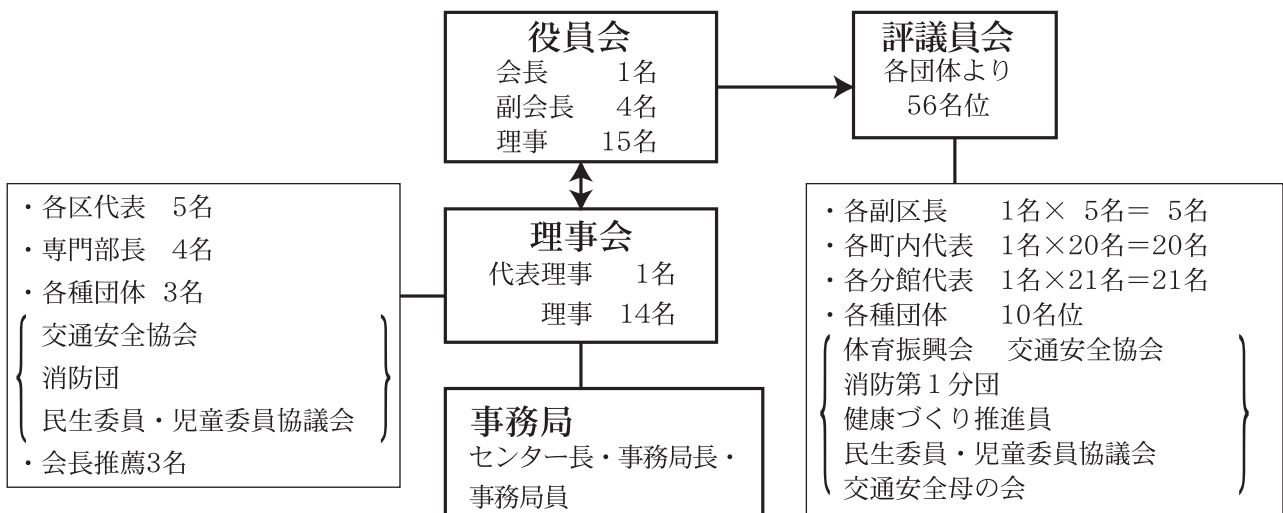
平成27年にコミセンに移行し、桜の里づくり推進委員会が発足してから丸4年が経過し、現状に合った地域づくり活動をより円滑に行っていくために、組織のスリム化と推進体制の整備を目的に、蚕桑地区桜の里づくり推進委員会規約を一部改正することになりました。規約改正案は、1月17日の理事会で検討いただき、2月28日の臨時評議員会において承認されました。以下、変更となった点をお知らせいたします。

※太字は改正箇所です。

- 1 役員
 - ・副会長 4名（現在2名） ・理事 15名以内（現在25名）
- 2 役員を選出
 - ・会長は、蚕桑地区区長会長とし、**他の区長を副会長とする。**
 - ・理事は、**各区が推薦する者各1名**、各種団体が推薦する者、各専門部長及び会長が推薦する者とする。
- 3 役員会
 - ・役員会は、会長及び副会長並びに理事で構成し、会長が召集し、議長には会長が当たる。
 - ・役員会は、本会の運営に関する下記事項を審議する。
 - (1) 活動方針、事業計画に関すること。
 - (2) 規約の制定、改廃に関すること。
 - (3) 予算及び決算の決議に関すること。
 - (4) その他、**会長が必要と認めること。**
 - ・役員会は、**役員の過半数の出席により成立し、出席役員の過半数の賛成により決する。賛否同数の場合は、議長の決するところによる。**
- 4 理事会
 - ・理事会は、理事により構成し、会長が招集する。
 - ・**理事会に代表理事を置き、議長は代表理事が当たる。**
 - ・理事会は、理事の過半数の出席により成立し、議事は出席理事の過半数の賛成により決する。賛否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 5 評議員会
 - ・評議員は、蚕桑地区民の中から、別表の選出区分により、**各副区長**、町内が推薦した者1名、及び各分館1名、並びに各種団体が推薦する者とし、任期は2年とする。
- 6 専門部会
 - ・部会に関する**詳細事項は、規程**で定める。
- 7 顧問
 - ・顧問は、役員会の承認を得て会長が委嘱する。
 - ・顧問は、会長の諮問に答え、役員会、理事会、評議員会に出席して意見を述べるができる。
- 8 施行期日
 - ・この規約は、平成31年4月1日から施行する。



蚕桑地区桜の里づくり推進委員会 組織体制



平成31年度白鷹町介護予防教室事業
「元氣わくわく教室」のご案内

年齢を重ねてもいつまでも元気で、いきいきと充実した毎日を送るため、介護予防教室事業「元氣わくわく教室」を行います。この教室では、体力筋力向上と、認知症予防にもなる体操を定期的に行います。

◎対象 65歳以上の方（支援や介護が必要のない方）

◎場所 蚕桑地区コミュニティセンター

◎期間 4月10日（水）から 週1回水曜日

※1年間通して週1回参加可能な方

◎時間 午前10時から11時30分

◎講師 白鷹町総合型地域スポーツクラブ ゆめスポしらたか「RO*KU」

◎利用料金 1回200円（送迎はありません）

◎申込み先 白鷹町地域包括支援センター係

※定員は20名です。先着順となりますので、お早めに申込みください。

担当：白鷹町地域包括支援センター係
電話番号 86・0112

しらたか古典桜の里 さくらまつりのお知らせ

◎日時 4月13日（土）～28日（日）（終了は開花状況によって変動します）

◎メイン会場 釜の越農村公園（無料駐車場あります）

◎イベント さくらさくらステージ

☆4月14日（日）出演団体☆
▼さくらの保育園 11:00～11:20
▼マルベリーズ 12:45～13:15

☆4月21日（日）出演団体☆
▼たけさんのバルーンアート
▼よさこい白鷹櫻鷹會 11:30～12:00

☆4月20日（土）高玉芝居公演☆ *荒天候中止
12:30～舞踊 13:30～芝居



青パト隊出発式を行います

◎日時 4月9日（火）午前8時15分
◎場所 蚕桑小学校
☆防犯連絡員、青パトにご協力いただいている方々ぜひ、ご参加をお願いします。
当日は警察のパトロールカー、企業の協力車、センターの青パト車で蚕桑地区内を巡回します。

男の料理教室



2月9日、男の料理教室を開催し、「そば打ちと寒ダラ料理」に挑戦しました。今年も、ご夫婦、女性にも広く参加を呼びかけた効果もあって、23名と大変多くの参加者で盛り上がりました。「寒ダラ汁」「簡単アクアパッツァ」「白子の天ぷら」と珍しい料理に舌鼓を打ちました。



熟年元氣クラブ

2月10日、熟年元氣クラブで「ニュースポーツ体験」を開催。「カローリング」を「ピンボール」に挑戦しました。カローリングは最初思いうようにゲームが難しく、配膳のコツがわからず、脳力も衰えてしまいましたが、継続して楽しみました。



優勝の福嶋、金子、金田チーム

「元気に戻ってきてね」
蚕桑小2年生 大鮎貝川でサケ放流

3月4日、冷たい雨が降る中、蚕桑小2年生14名が大鮎貝川でサケの放流を行いました。

この放流事業は、「大鮎貝川に鮭を呼ぶ会」(今野國善会長)が5年前から毎年行っているもので、この日はサケの稚魚2万匹を放流しました。子ども達が川に入り、バケツの稚魚をそつと川に放すと一斉に元気いっぱい泳いで行きました。放流後に山形県内水面水産試験場の方からサケの一生のお話をお聞きしました。サケの稚魚は、川から海に入り、遠くベーリング海やアラスカ湾まで泳いで行き、卵を産むため約4年後の秋、生まれた川に帰ってくるということでした。

校長先生が「みなさんが6年生になるまでの間、たとえ辛い事があっても今日のサケのことを思い出してしっかりがんばってください。」とお話され、子ども達は真剣に聞き入っていました。大鮎貝川にサケが元気に戻ってくるのを楽しみに待ちたいと思います。



青パト車での見守り活動

ご協力ありがとうございました

毎週木曜日に行っている青パト車の見守り活動に今年度は延べ122名(50回実施)と大勢の方からご協力いただきました。防犯連絡員をはじめ、民生児童委員、むつみ学級生、一般の方にご協力いただいておりますが、今年度から新たに更生保護女性会からもご協力いただけることになり、大変ありがたく思っています。多くの方々の協力により地域の子ども達の見守り活動を継続できていることに心から感謝いたします。子ども達の安全を守る活動にこれからもご協力をお願いいたします。



昨年の青パト隊出発式の様子

山柳

蚕桑交柳社作品

課題 「外」

外面と内面全て逆模様
転ぶなど孫の肩借り雪の道
心の鍵外すと見えて来る世界

課題 「無理」

無理するな嫁が優しく声掛ける
人生は無理難題の積み重ね
無理招く九十歳の好奇心

ユーマア句

寒空に外に出たがる猫の恋
塩砂糖酒も駄目よと無理を言う

耕心 案柳 笑柳

八重 凡古 案柳

臯月 杯

あとがき

今年のは雪解けが早いので、私も出勤するべく歩くと山の変化や草花の芽吹が体感でき、春がすぐそこまできているのがわかります。今年度も多くの皆様にご協力いただきありがとうございます。今年度も蚕桑コミセンが地域の拠点となるように、要望を聞きながら進めたいと思っております。常日頃感じることでも結構です。お願いいたします。(まるかわ)

◆ これからの予定 ◆

- 3月22日(金) 地域すこやか部会
- 4月5日(金) 蚕桑小学校入学式
- 4月6日(土) さくらの保育園入園式
- 4月9日(火) 青色パト車隊出発式
- 4月13日(土)~しらたか古典桜の里 さくらまつり

*毎週木曜日(4月11日~)
青色パト車運行

